

平成24年7月20日

貧酸素水塊速報 (2012年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
神奈川水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
モニタリングポスト(海上保安庁,国土交通省)
(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成24年7月18～19日観測結果

貧酸素水塊は、湾北西部を中心として分布していました。また、湾奥の船橋から千葉市地先にも貧酸素水塊が見られました。多摩川河口付近を除けば、DOは1ml/L以上あり、極度に強く貧酸素化してはいませんでした。貧酸素水塊の規模は、前回に引き続き例年より低め(例年比50%程度)で推移しています(図3)。

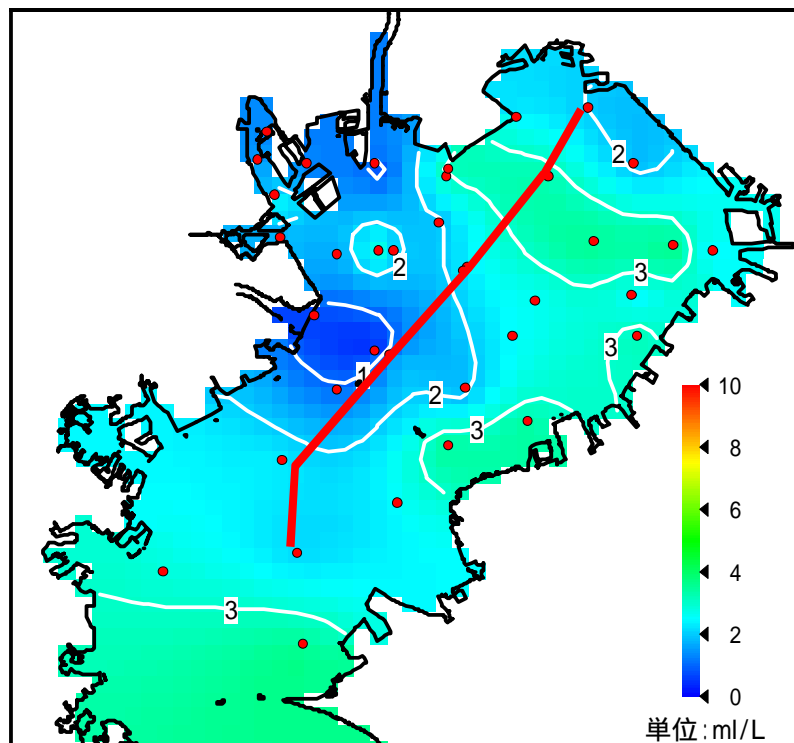


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

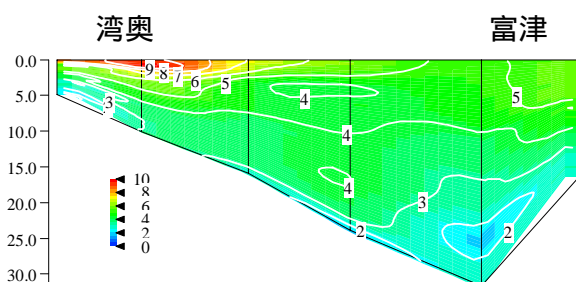


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

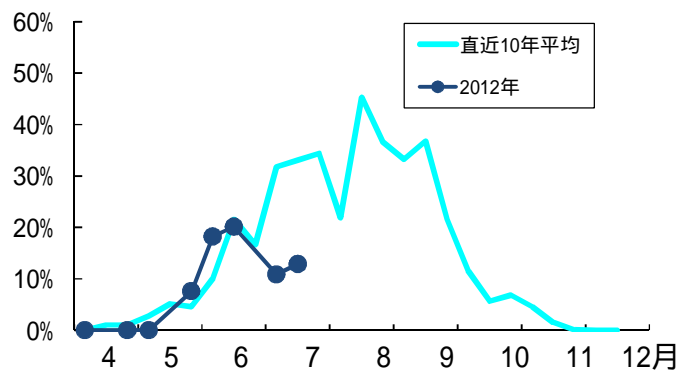


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)